

第34回 教育研究評議会 議事要録

日時 平成21年6月24日(水) 10:30～
場所 事務局会議室(5階)
出席者 相良学長、櫻井理事(総務担当)、深見理事(教育担当)、井上理事(研究担当)、竹身理事(財務担当)、倉本理事(医療担当)、横谷副学長、橋本副学長、吉尾副学長、吉倉副学長、辻田副学長、小槻副学長、受田副学長、遠藤副学長、小澤人文学部長、藤田教育学部長、脇口医学部長、篠農学部長、奥田大学院黒潮圏総合科学専攻長、渡邊センター連絡調整会議議長、稲田評議員、鈴木評議員、川合評議員
陪席 益田監事、大崎監事

[配付資料]

- 資料 1 国立大学法人高知大学第二期中期目標・中期計画素案(案)
- 資料 2 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)
- 資料 3 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果の総括
- 資料 4 平成22年4月からの新部門について
- 資料 5-1 「高知大学情報セキュリティポリシー」の全部改定について
- 資料 5-2 高知大学情報セキュリティポリシー(案)
- 資料 6 臨床研修医の4月1日の医籍登録を可能とする方策について
- 資料 7-1 平成20年度学部卒業生就職等進路状況
- 資料 7-2 平成20年度大学院修了生就職等進路状況
- 資料 8 平成21年度入試について ―広報活動の総括とともに―
- 資料 9-1 平成22年度研究拠点プロジェクトの流れ
- 資料 9-2 平成22年度研究拠点プロジェクトの採択(計画概要)
- 資料 10 規則の制定等に関する報告
- 資料 11 高知大学オープンキャンパス リーフレット

議事に先立ち、第33回教育研究評議会議事要録(案)の確認が行われ、異議なく承認された。

[議題]

1. 国立大学法人高知大学第二期中期目標・中期計画素案(案)について

櫻井理事から、資料1に基づき、国立大学法人高知大学第二期中期目標・中期計画素案(案)について、各ワーキンググループでの検討を重ねて作成した旨の報告、中期目標の前文について概略が説明され、教育は深見理事、研究は井上理事、その他の目標は櫻井理事、附属病院は倉本理事、業務について竹身理事と分野ごとに各理事から説明が行われ、経営協議会、役員会の議を経て文部科学省へ提出することが、承認された。

なお、今回の中期目標・中期計画素案(案)は、各部局より提案のあったものを含有しているかについての確認があり、櫻井理事より各部局の提案は全て含有しており、各部局においてはそれぞれで提案された目標・計画を着実に実行願う発言があった。

2. 平成 20 事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

櫻井理事から、資料 2 に基づき、平成 20 事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について総括的な説明が行われ、教育は深見理事、研究は井上理事、その他の目標は櫻井理事、附属病院は倉本理事、業務について竹身理事と分野ごとに各理事から説明が行われ、評議員から事項等についての確認及び字句の修正依頼があり、さらに精査を行い提出することとし、承認された。

3. 中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について

櫻井理事から、資料 3 に基づき、中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について全体的な報告が行われ、平成 21 年 3 月 26 日付けで国立大学法人評価委員会より通知のあった中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果については、全ての項目で中期目標の達成状況が良好又はおおむね良好であるという報告が行われた。

4. 平成 22 年 4 月からの新部門について

櫻井理事から、資料 4 に基づき、平成 22 年 4 月からの新部門について説明が行われ、現状でのスケジュール及び教員の新部門への所属が決定した際には、役員会に報告する予定である旨、報告が行われた。

5. 高知大学情報セキュリティポリシーの全部改定について

櫻井理事から、資料 5-1、5-2 に基づき、高知大学情報セキュリティポリシーの全部改定について国立情報学研究所「国立大学法人等における情報セキュリティポリシー策定作業部会」と電子情報通信学会「ネットワーク運用ガイドライン検討 WG」で作成されたサンプル規程集に沿って高知大学におけるセキュリティポリシーを全部改定する旨の報告が行われ、承認された。

6. 臨床研修医の 4 月 1 日の医籍登録を可能とする方策について

深見理事から、資料 6 に基づき、臨床研修医の 4 月 1 日の医籍登録を可能とする方策について平成 21 年 4 月 7 日付けで全国医学部長病院長会議から依頼があり、臨床研修医を 4 月 1 日から医師として雇用し直ちに研修ができるようにするための方策として、卒業式の日と卒業認定の日を切り離し、医学部医学科卒業生の卒業認定の日(卒業証書記載の卒業年月日)を 3 月 10 日とすること、及び卒業式の日は従前どおり 3 月 23 日であることについて報告が行われた。

7. 平成 20 年度学部卒業生・大学院修了者就職等進路状況について

深見理事から、資料 7-1、7-2 に基づき、平成 20 年度学部卒業生・大学院修了者就職等進路状況について報告が行われ、就職支援の強化等により昨今の社会的状況の中でも前年より就職率が向上した旨が付言された。

8. 平成 21 年度入試について ―広報活動の総括とともに―

深見理事から、資料 8 に基づき「平成 21 年度入試について ―広報活動の総括とともに―」について報告が行われ、具体については、吉尾副学長(入試企画実施機構副機構長)から 2006-2009 年度の入試の実態を志願者の動態に重点をおいて分析した結果の詳細及び今後の入試広報活動の

改善すべき点等について報告が行われた。

なお、分析結果等から入試制度を変更する際には、実施年の2年前には新しい入試制度の予告を行えるよう検討を願う旨の発言があった。

9. 研究拠点プロジェクトの採択について

井上理事から、資料9-1、9-2に基づき、研究拠点プロジェクトの採択について採択までの流れ及び5名の外部審査員を含めた審査の結果、3件のプロジェクトが採択され平成22年4月より開始される旨の報告が行われた。

10. 規則の制定等について

櫻井理事から、資料10に基づき、国立大学法人高知大学における規則等の取扱基準に関する規則により、学長決裁で制定した規則について報告が行われた。

11. 平成21年度オープンキャンパスの実施について

深見理事から、資料11に基づき、本年度に開催するオープンキャンパスの概要等について説明が行われ、併せて各部局への協力依頼が行われた。

12. その他

- ・ 学長から、6月15日に開催された国立大学協会の総会報告があり、国立大学の在り方の理解を求める必要性や評価における各大学間の評価の差があるのではないかという事が考えられるため、国立大学協会でも諮問委員会を設けて検討する方向である旨の報告が行われた。
- ・ 学長から、文部科学省及び国立大学協会が問題視している事項の一つとして入試の問題があり、これは「学士力」と密接に結びついているので、大学改革の上で非常に重要であるので、特に注意して検討して頂きたい旨の要請がなされた。
- ・ 学長から、6月18日開催の四国地区国立大学長会議、6月22日開催の高知学長会議の議事等について報告が行われた。

以 上